夜に雌牛章の最後の２節を読んだ者は、それで十分なのである。

アブー・マスウード・アル＝バドリー（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば、預言者（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）は言った：「夜に雌牛章の最後の２節
を読んだ者は、（あらゆる悪から守られるのに）それで十分なのである。」
[真正] [二大真正集収録の伝承]

預言者（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）は、夜寝る前に雌牛章の最後の２節を読んだ者が、アッラーによって悪から守られると述べている。また「それで十分なのである」とは、それだけで夜の任意の礼拝、あるいは、ウィルド（クルアーンの毎日の朗誦部分）の代わりになるのだとか、その読誦だけで夜の任意の礼拝の中の読誦としては十分なのだとかいった解釈もある。ハディースは、以上の全ての説を含みえる。

http://www.sunnah.global/hadeeth/ja/show/6274